

鎌倉市社会基盤施設白書増補版
(生活環境施設)

平成30年度版

鎌 倉 市

平和都市宣言

われわれは、
日本国憲法を貫く平和精神に基いて、
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、
全世界の人々と相協力してその実現を期する。
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、
ここに永久に平和都市であることを宣言する。
昭和33年8月10日

鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本文

- わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

市の木・市の花

市の木 ヤマザクラ



「ヤマザクラ」(オオシマザクラを含む)は昭和50(1975)年10月25日に市の木に制定されました。

和名 山桜(ヤマザクラ)
学名 Prunus Jamasakura
科名 バラ科サクラ属
特徴 落葉広葉樹で高木
花の色 白色、淡紅色や淡紅紫色など変異があり
花期 4月頃～(葉と同時に花をつけます)

ヤマザクラは本州(関東地方以西)・四国・九州に分布する日本の代表的な桜です。低山地に多いですが、平地でもよく見かけます。

寿命はとても長く、100年～150年とも言われていて、高さは15m～25m、幹の直径は1mを越えるまで成長します。材は建築材、家具材等に用いられ、古来(こらい)、樹皮は食中毒、果皮は胃カタルに多用されたそうです。

鎌倉市では3月下旬～4月上旬ころに散在ヶ池(さんざがいけ)森林公園で美しい花を見ることができます。

市の花 リンドウ



「リンドウ」は昭和50(1975)年10月25日に市の花に制定されました。

和名 竜胆(リンドウ)
学名 Gentiana
科名 リンドウ科リンドウ(ゲンチアナ属)
花の色 青紫、紫紅、白
花期 9月から11月
(ただしハルリンドウと言って花期が3月から6月の種類もあります)

リンドウは野山に自生するリンドウ科の耐寒性の多年草で、葉が笹(ササ)に似ているのでササリンドウとも呼ばれています。日本、シベリア、中国、朝鮮半島に分布し、種類は約400種類もあり、日本には約18種自生(じせい)しています。漢字で書くと「竜胆」、呼び名の「リンドウ」は竜胆(リュウタン)が訛ったもので、中国でこの名が付けられました。これはリンドウの根から「リンドウコン」という薬がとれるのですが、竜の胆(きも)のように苦いということからだそうです。リンドウの薬効は古くから、世界的にも知られていて、

主には苦味健胃、消化不良、食欲増進、解毒などに効果があるそうです。

うさぎに化けた神様がリンドウの薬効を教えてくれたという言い伝えもあります。

鎌倉市の市章は通称「ササリンドウ」と呼ばれるリンドウ紋です。

目 次

| | | |
|---------|----------------|---|
| 1.1 | 生活環境施設（環境センター） | 1 |
| 1.1.1 | 管理数量について | 1 |
| 1.1.2 | 生活環境施設の位置 | 3 |
| 1.1.3 | 生活環境施設の稼働状況 | 4 |
| 1.1.3.1 | 名越クリーンセンター | 4 |
| 1.1.3.2 | 今泉クリーンセンター | 4 |
| 1.1.3.3 | 笛田リサイクルセンター | 5 |
| 1.1.3.4 | 深沢クリーンセンター | 5 |
| 1.1.4 | 生活環境施設の財務状況 | 6 |
| 1.1.4.1 | 維持管理経費 | 6 |
| 1.1.4.2 | 人件費 | 7 |

1.1 生活環境施設（環境センター）

1.1.1 管理数量について

市では、収集ごみを名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、深沢クリーンセンターの4箇所の環境センターで収集した可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、し尿を処理しています。

施設は、昭和48年（1973年）に設置された今泉クリーンセンターが最も古く、稼動後45年を経過しています。最近に建設された笛田リサイクルセンターは、稼動後21年を経過しています。

それぞれの施設は、稼動後に規制された環境基準を満し、安全に処理能力を維持するために改修工事を実施しています。

表 施設所在地と役割

| 施設名称 | 敷地面積 | 取り扱う廃棄物 | 処理内容 |
|-------------|--------------------------|---------------------------------------|----------------------------|
| 名越クリーンセンター | 11,856.12 m ² | 燃やすごみ 燃えないごみ 危険・有害ごみ 使用済み食用油 | 可燃ごみ燃焼処理 解体・粉砕 資源化処理 |
| 今泉クリーンセンター | 15,102.10 m ² | 粗大ごみ 事業系廃棄物 | 解体・粉砕 資源化処理 |
| 笛田リサイクルセンター | 5,396.40 m ² | 飲食用カン・ビン ミックスペーパー | 圧縮・梱包 中間資源化 (圧縮・梱包) |
| 深沢クリーンセンター | 15,719.49 m ² | し尿・浄化槽汚泥 | 公共下水道への 投入施設 |

表 施設の稼動、改修状況

| 施設名称 | 稼動年月 | 稼動年数 | 改修年月 | 改修後年数 |
|-------------|----------|------|---------------------|-------|
| 名越クリーンセンター | 昭和57年2月 | 36年 | 平成14年11月 平成27年8月 | 2年 |
| 今泉クリーンセンター | 昭和48年5月 | 45年 | 昭和55年3月 平成17年3月 | 12年 |
| 笛田リサイクルセンター | 平成9年4月 | 21年 | — | — |
| 深沢クリーンセンター | 昭和59年12月 | 34年 | 平成14年3月 | 15年 |

おもに可燃ごみを燃焼する施設である名越クリーンセンターの処理能力は150t/日です。市内の約74,000世帯の家庭系ごみや事業ごみの処理を扱っています。（今泉クリーンセンターは、平成27年3月末をもって焼却停止となりました。）

笛田リサイクルセンターでは、おもにビン・カンやミックスペーパーなどの資源ごみを処理し資源化を図っています。処理能力は40t/日です。

深沢クリーンセンターではし尿処理を行っています。持ち込まれたし尿を下水道に流すための施設で、100k1/日の能力を有しています。

表 施設概要（「公共施設再編計画」の施設項目）

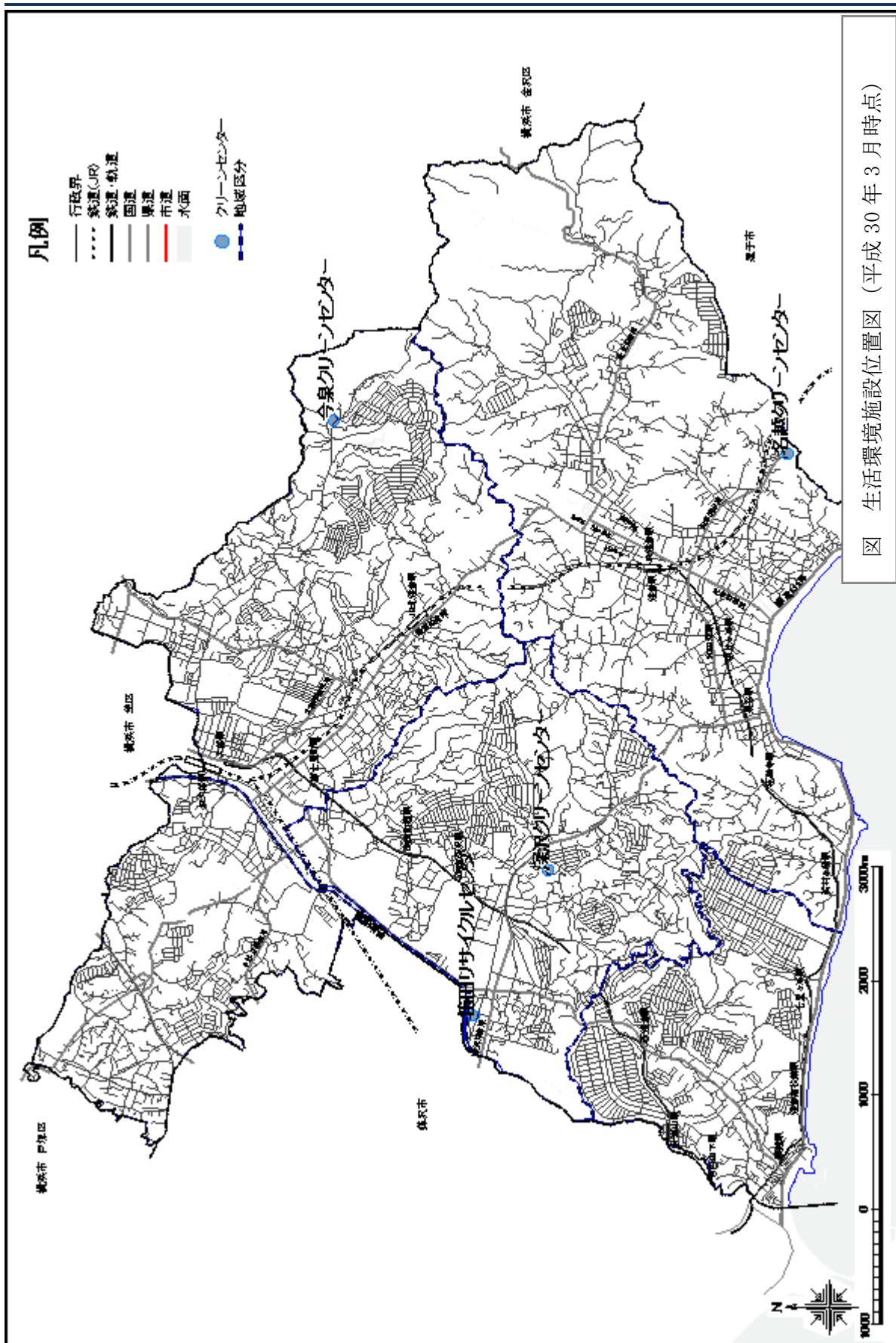
| 施設名称 | 併設施設 | 津波浸水予想 | 防災保有設備 |
|-------------|------|--------|--------|
| 名越クリーンセンター | なし | エリア外 | あり |
| 今泉クリーンセンター | なし | エリア外 | あり |
| 笛田リサイクルセンター | なし | エリア外 | なし |
| 深沢クリーンセンター | なし | エリア外 | あり |

表 併設施設、施設の立地、防災設備の有無

| 施設名称 | 処理能力 | 処理内容 | 管内クリーンステーション | 対象世帯数 |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------|--------------|----------|
| 名越クリーンセンター | 150t/日 (75t×2基) | 可燃ごみ燃焼処理 | 2,932箇所 | 41,994世帯 |
| 今泉クリーンセンター (平成27年3月に焼却停止) | 30t/日 (75t×1基) | 中継施設 | 1,889箇所 | 31,945世帯 |
| 笛田リサイクルセンター | 40t/日 (カン・ビン20t/日) (紙類 20t/日) | 不燃ごみ処理 資源ごみ処理 | 市内全域 | 市内全域 |
| 深沢クリーンセンター | 100k1/日 | し尿処理 | 市内全域 | 市内全域 |

各施設の防災上の立地、発災時に利用することを想定した保有設備は、以下の通りです。

1.1.2 生活環境施設の位置



1.1.3 生活環境施設の稼働状況

各施設の平成 29 年度（2017 年）の稼働状況を、名越クリーンセンター及び今泉クリーンセンターは搬入量、処理量、稼働日数で示します。

笛田リサイクルセンター、深沢クリーンセンターは、処理量、可能日数を示します。

1.1.3.1 名越クリーンセンター

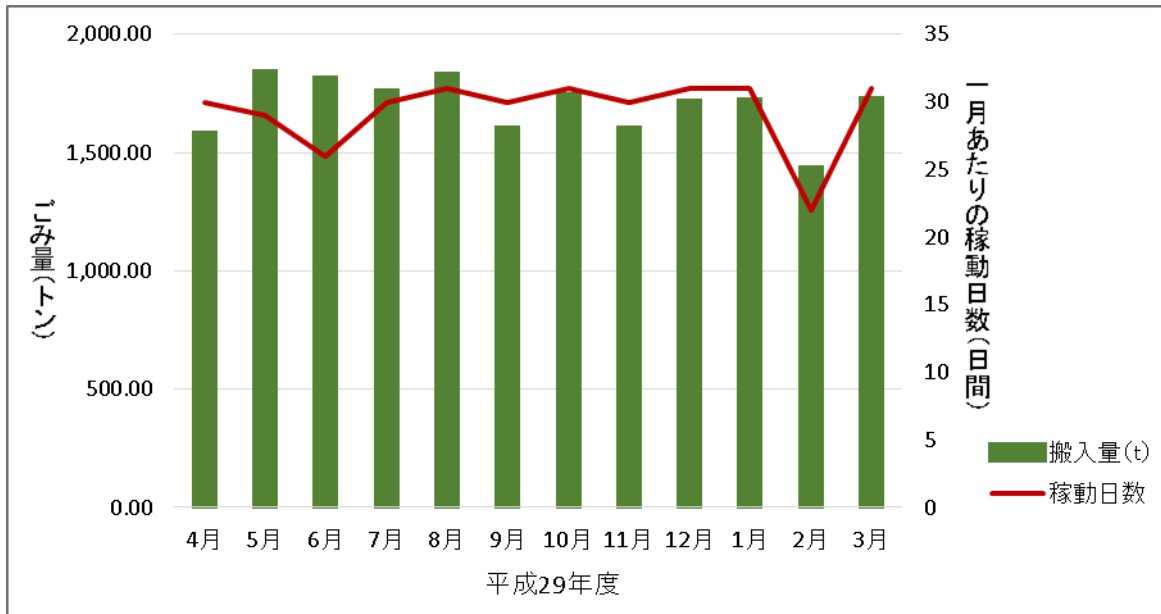


図 平成 29 年度（2017 年）の稼働状況（名越クリーンセンター）

1.1.3.2 今泉クリーンセンター

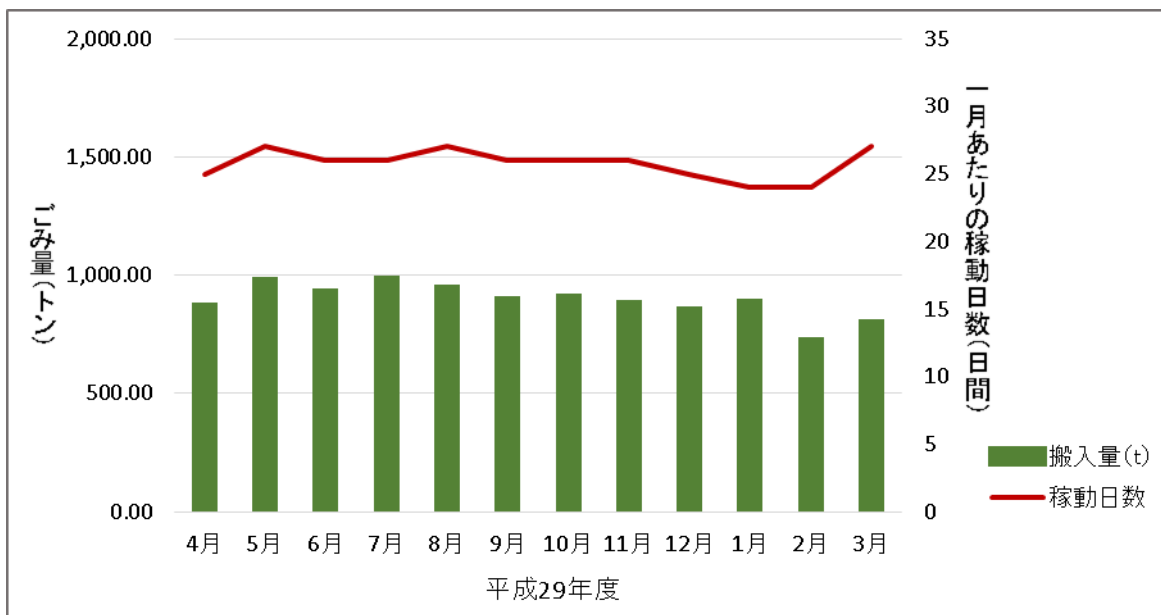


図 平成 29 年度（2017 年）の稼働状況（今泉クリーンセンター）

1.1.3.3 笛田リサイクルセンター

表 平成 29 年度（2017 年）の稼働状況（笛田リサイクルセンター）

| 項 目 | | 稼働状況 | 備 考 |
|------|----------|-----------|-----|
| 処理量 | 飲食用カン | 374 t/年 | |
| | 飲食用ビン | 1,570 t/年 | |
| | ミックスペーパー | 2,175 t/年 | |
| 稼働日数 | | 256 日 | |

1.1.3.4 深沢クリーンセンター

表 平成 29 年度（2017 年）の稼働状況（深沢クリーンセンター）

| 項 目 | 稼働状況 | 備 考 |
|------|-------------|-----|
| 処理量 | 3,520.56 kl | |
| 稼働日数 | 244 日 | |

1.1.4 生活環境施設の財務状況

1.1.4.1 維持管理経費

表 平成 29 年度（2017 年度）の維持管理経費の実績

| 管理の区分 | 項 | 目 | 中事業 | 担当部署 | 歳出額（円） |
|-------|-----|--------|-----------------------|--------|-------------|
| 維持管理 | 清掃費 | じん芥処理費 | 名越クリーンセンター 管理運営事業 | 環境施設課 | 500,000 |
| 維持管理 | 清掃費 | じん芥処理費 | 名越クリーンセンター 管理運営事業 | 環境センター | 393,233,000 |
| 維持管理 | 清掃費 | じん芥処理費 | 今泉クリーンセンター 管理運営事業 | 環境センター | 45,858,000 |
| 維持管理 | 清掃費 | じん芥処理費 | 笛田リサイクルセンター 管理運営事業 | 環境センター | 149,985,000 |
| 維持管理 | 清掃費 | し尿処理費 | 深沢クリーンセンター 管理運営事業 | 環境センター | 22,872,000 |
| 合 計 | | | | | 612,448,000 |

【参 考】

施設の稼動には、電気、ガス、上下水道のほか、焼却施設では助燃料が必要です。
これにかかった経費を示します。

表 平成 29 年度（2017 年度）の燃料使用量

| 施設名称 | 電気量 (kwh) | ガス量 (m ³) | 助燃料 (t) | 上水道 使用量 (m ³) | 下水道 使用量 (m ³) | 備 考 |
|------------|--------------|--------------------------|------------|------------------------------|------------------------------|------------|
| 名越クリーンセンター | 4,332.395 | 683 | 36,200 | 73,776 | 11,804 | 助燃料： 灯油 |
| 今泉クリーンセンター | 552.127 | 511 | — | 3,314 | — | |
| 笛田サイクルセンター | 342.673 | 47,849 | — | 4,031 | 4,031 | |
| 深沢クリーンセンター | 236.018 | 30 | — | 3,233 | 6,226 | |

表 平成 29 年度（2017 年度）の助燃費等

| 施設名称 | 電気料 (円) | ガス料 (円) | 水道料 (円) | 助燃料 (円) | 合計 (円) |
|-------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 名越クリーンセンター | 75,716,618 | 93,802 | 30,331,759 | 3,330,720 | 109,472,899 |
| 今泉クリーンセンター | 10,473,192 | 243,069 | 852,198 | — | 11,568,459 |
| 笛田リサイクルセンター | 7,722,946 | 4,180,476 | 2,018,244 | — | 13,921,666 |
| 深沢クリーンセンター | 4,430,749 | 24,943 | 2,369,679 | — | 6,825,371 |
| 合計 | 98,343,505 | 4,517,347 | 35,571,880 | 3,355,663 | 141,788,395 |

1.1.4.2 人件費

生活環境施設の管理にかかる人件費は、「第 3 次鎌倉市総合計画 第 3 期基本計画前期実施計画」にある 368 事業を対象に「平成 29 年度行政評価報告書」で作成した「事務事業評価シート」により試算しました。試算の結果、生活環境施設の管理に携わる部署は 5 部署、職員数は 21.5 人、人件費は 1.70 億円に相当します。

表 環境センターを運営する職員数

| 施設名称 | 管理職 (人) | 施設管理職員 (人) | 収集職員 (人) | 合計 (人) |
|-------------|------------|---------------|----------|--------|
| 名越クリーンセンター | 1.0 | 4.0 | 44.0 | 49.0 |
| 今泉クリーンセンター | 1.0 | 7.0 | 27.0 | 35.0 |
| 笛田リサイクルセンター | 0.5 | 3.0 | 0 | 3.5 |
| 深沢クリーンセンター | 0.5 | 4.0 | 0 | 4.5 |
| 合計 | 3.0 | 18.0 | 71.0 | 92.0 |

表 インフラ管理を担う部署と業務規模

| インフラ管理を担う部署 | 事業の数 (事業) | 管理担当職員数 (人) | 人件費 (千円) |
|-------------|--------------|----------------|-------------|
| (1) 環境センター | 4 | 21.4 | 169,414 |
| (2) 環境施設課 | 1 | 0.1 | 770 |
| 合計 | 5 | 21.5 | 170,184 |

※「管理担当職員数」は、環境センターや環境施設課に配属している職員のうち、インフラ管理にかかる業務を担当する職員数を「平成 29 年度行政評価報告書」より試算しています。